



発行所  
十勝毎日新聞社

©十勝毎日新聞社 2004

〒080-8688

帯広市東1条南8丁目

TEL(代表)0155-22-2121

編集局 0155-22-2121

広告局 0155-23-2323

販売局 0155-24-2222

事業局 0155-22-7555

総務局 0155-24-2299

広尾支局 01558-2-4111

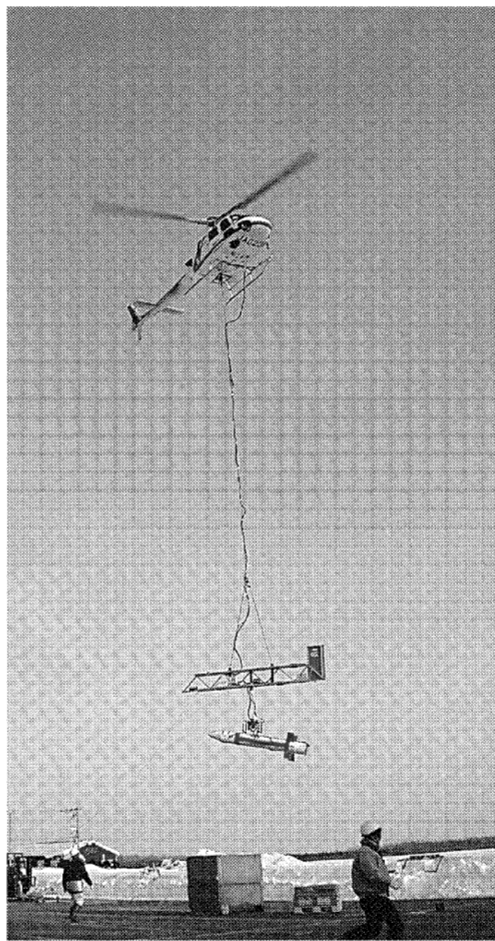
池田支局 01557-2-2367

本別支局 01562-2-2618

新得支局 01566-4-5524

札幌支社 011-261-2161

東京支社 03-3544-1365



落下試験のためヘリコプターでつり上げて上空2キロへ向かうロケット型の機体

## 上空2キロから機体回収成功

大樹 IHIエアロスペース

【大樹】宇宙関連企業のIHIエアロスペース(本社東京)は24日、大樹町多目的航空公園付近の原野でロケット型の機体を使った落下回収実験を行い、成功した。ヘリ

コプターで機体を上空2キロへ運んで投下、搭載したパラグライダー型のパラシュートを開き、自動制御で目的地まで誘導、軟着地させた。同社の大塚浩仁・第一宇宙技術課長は「連続する動作が計画通りに実行できた」と喜びを話した。実験は、安価な打ち上げシステム研究の一環で、宇宙空間から機体や搭載機器を回収、再利用できる技術を確認するのが狙い。一連の動作は、内部のフライトコンピュータが指令。全球測位システム(GPS)で位置を把握、自動制御で機体の姿勢を整える。地上からの遠隔操作は一切必要としない画期的なシステムだ。

実験には同社の社員ら20人が参加。午後3時50分ごろ、機体(全長約3・4メートル、重量約260キロ)をヘリでつり上げ、上空へ移動。機体を切り離れた後、パラグライダー式パラシュートでゆっくりと滑空、機体とパラシュートをつなぐロープを操り、目標地点に誘導。雪面に着地すると同時に機体の前後に組み込まれたエアバッグが開き、機体を保護した。(浅井文人)